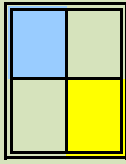
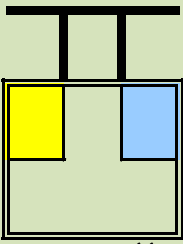


にしまち



創刊号

“ご存知ですか？” まちづくりセンター

まちづくりセンターでは、町内会をはじめとする地域のみなさんと連携しながら、様々なまちづくり活動を推進しており、地域課題の解決やコミュニティの活性化、ネットワークづくりに向けた取り組みをお手伝いしています。

◆◆◆ これからは、この広報誌を通じて、“まちづくりセンターを、より多くの方に知っていただく”
◆◆◆ と思います。ぜひご覧ください。 ◆◆◆

第1回目のテーマは、『“地域”と“学校”と“まちづくりセンター”とのつながり(絆)』です。

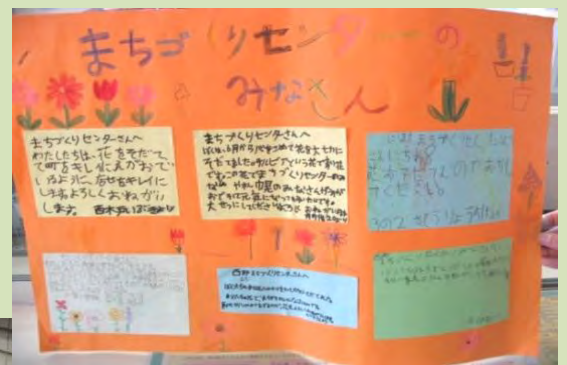
西町まちセンを花で飾ろう！

7月21日(水)、西園小学校の3年生のみなさんが、西町まちづくりセンターを訪れ、お花の鉢植えを飾ってくれました。

この鉢植えは、「自分たちの住む地域の病院やお店、施設をきれいにお花で飾ろう」という教育活動の一環で、児童一人ひとりが種から育てたものです。

お花は9月上旬までまちづくりセンターの玄関に配置され、その間児童が毎日のように水やりなどのお世話をしてくれました。

主に夏休み期間中のたいへん暑い時期に、お家からペットボトルいっぱいのお水を自転車で運んでくれました。重かったでしょう？ どうもありがとう。



【まちセン所長からの一言】

小学校の「総合的な学習」に協力させていただきました。

手作りごみカレンダーを地域のお年寄りに贈ろう！

11月10日(水)、西園小学校の5年生のみなさんが、西町まちづくりセンターを訪れ、地域に暮らすお年寄りの方々に手作りのごみ収集日カレンダーをプレゼントしてくれました。

「お年寄りの方が見やすくわかりやすいように」と児童が心をこめて作ったカレンダーはどれも、字が大きく、季節感あるイラストがあふれた力作ばかりでした。

受け取った地域の方々も「どうもありがとう、私たちもごみ減量に協力していきたい」と大変感激しておりました。



子どもたちからの心のこもった素敵な贈り物



とても見やすいカレンダーです。

【まちセン所長からの一言】

小学生と、地域のお年寄りとの新たな絆（きずな）が生まれました。

YOSAKOI ソーラン祭りを地域で盛り上げよう！

6月12日(土)、YOSAKOI ソーラン祭りin 白い恋人パークのハーフタイムに、札幌市立西小学校の6年生全員が参加し、華麗な舞で会場を沸かせました。

ヨサコイの練習を通して団結力や集団行動を学ばせようと、毎年、運動会で5、6年生によるヨサコイに取り組んでいます。6年生が5年生に踊りを教え、受け継いでいくという伝統が定着し、学年間の交流にも役立っています。

この日参加したのは6年生全員約150人。チーム名は6年生の学年目標「Dream(ドリーム)」、「一人ひとりの夢の扉を開く」ことが踊りのテーマとなっています。

児童らは4月から練習を始め、5月29日(土)の運動会で踊りを披露した後も、この日のために毎朝、さらには総合的な学習の時間を使って猛練習してきました。

また、近隣町内会の方には、踊り子さんに水を差しだす給水ボランティアを務めていただきました。お疲れさま。



【まちセン所長からの一言】

“地域のお祭り”として位置付けていきたい主催者(企業)側の意向もあり、地域で活動する団体にとっての新たな発表の機会ができました。

市内の高校の放送局から取材を受けました

西町地区には、道内初のプロサッカーチーム「コンサドーレ札幌」の練習場があります。この地域の特徴を生かして“魅力あふれるまちづくり”を目指した取り組みが行われております。

8月26日(木)、札幌北高等学校放送局の生徒さんから、「プロスポーツと地域振興」をテーマに取材を受けました。チームを支える立場としての想いをお聞きしたいとのことでした。

するどい質問や、真剣なまなざしに、思わず時間を忘れてお話をさせていただきました。

これまでの取組みを紹介します。

- 北5条手稲通(旧国道5号線)に「西町・コンサ通り」
という愛称をつけ、『西町・コンサ通りまちづくり』実行委員会
を設立
- 少年サッカー教室を開催
- 交通安全を願い横断幕を設置
- 「コンサドーレ札幌」応援バスツアー
- 「コンサドーレ札幌」応援CDの制作
- コンサカラーの旗、のぼりの作成 など



📷 まちセン事務室内での取材風景

コンサドーレ札幌の選手が子どもたちを熱血指導！

10月17日(日)、宮の沢白い恋人サッカー場で、西区内のサッカー少年団を対象に、コンサドーレ札幌の選手らによるサッカー教室が行われました。

未来のJリーガーをめざす小学生に、プロ選手が直接指導することで、地域の絆を深め、コンサドーレ札幌に愛着を持ってもらおうと開催されたもの。

この日、同サッカー場の天然芝グラウンドに集まったのは、西区内のサッカー少年団8チームに所属する75人の小学生。高原(GK)、西嶋(DF)、藤山(DF)、岡本(MF)、上里(MF)、高木(MF)の6選手と、スクールコーチが指導にあたりました。

選手らは時折冗談などを交えたり、面白おかしくプレーを解説したりして児童らを笑わせるなど、約1時間にわたってのサッカー教室は真剣ながらも和やかな雰囲気で行われました。

最後に藤山選手から「いつでもグラウンドに遊びに来て選手に声を掛けてください。また一緒にサッカーやりましょう」とあいさつがあり、教室は終了。児童らはみんな名残惜しそうな表情を浮かべていました。



【まちセン・スタッフの一言】

天然芝でのプレーや、プロ選手からの直接指導など、貴重な経験です。これからも子ども達の夢を少しでも応援できたらうれしいですね。

こころ・ふれあい交流会で学生落語！

10月26日(火)、10月29日(金)の両日、西野中央会館で「こころ・ふれあい交流会」が開催され、地域のお年寄りらが大勢参加されました。

これは、高齢者を対象に演芸を觀賞したり食事を一緒にしたりする場を提供することで、心身共にリフレッシュしてもらい、介護予防にも役立ててもらおうと、西町地区福祉のまち推進センターが主催したものです。

まず、町内会長など地域住民が自ら出演して、認知症がテーマの演劇「和(なご)み家族物語」を披露しました。その後は、手作りでのおもてなし昼食会、ゲーム大会、そして北海道大学落語研究会(北大落研)による寄席で大いに笑いました。

その後、全員でソーラン節を合唱、最後に、みんなで輪になり盆踊りで盛り上がりました。

交流会終了後は、北大落研の大学生2人も加わり、地域でボランティア活動を進めていく上での課題などを話し合い、「若者にもぜひ地域行事に参加してほしい」との要望も地域の方からでていました。



【まちセン所長からの一言】

学生さんへ 落語はたいへん好評でした。今度は地域行事にもボランティアとして、ぜひご参加を！

男和の会（男だけのサロン）でそば打ち体験！

11月5日(金)、西区民センターで主に男性高齢者を対象としたそば打ち体験が行われました。

これは、「地域での集まりはどことも女性がなくて、男性は参加しづらい」との男性高齢者の声を受け、西町地区福祉のまち推進センターが開催している男性だけの交流サロン「男和(だんわ)の会」の一環として行われたもの。

この日は、西町地区に住む男性を中心に約20人が参加。講師の「体温を伝えないように、指先でそば粉をかくはんして」「生地表面につやが出るまでよくねて」などのアドバイスを受け、参加者らは楽しそうに談笑しながらそばを打っていました。



【まちセン所長からの一言】

男和の会（男だけのサロン）は、寄付でまちづくりを応援する『さぼ一とほっと基金（札幌市）』からの助成を受けて運営されております。

『男和の会』では、このほかにも

- 囲碁・将棋
- ギョウザ作り
- 脳トレゲーム など行っています。

通常は毎月第1水曜日に開催。地域の方なら誰でも参加できます。

小学校でお年寄りと子どもが交流！

10月、地区内の3小学校(手稲東、西園、手稲宮丘)で、1・2年生とお年寄りの交流会が開催されました。

これは、昔遊びを子どもたちに教えるなど、世代間の交流などを目的に西町地区福祉のまち推進センターが毎年開催しているもの。

手稲東小学校の体育館では、あや取りや折り紙の「風船」作り、おはじき、お手玉、けん玉、こま回しなどを参加者と児童が一緒になって楽しみました。

その後は教室に移り、一緒に給食を食べました。

メニューは、お年寄りが子どもだったころは無かったものばかり。参加者からは「私が子どもの頃は、カボチャやジャガイモがコメの代わりだった」という声も。



西園小学校では、昔遊びのほかに、子どもたちが西園小の事をもっと知ってもらおうと、舞台上がって学校や学習の紹介、歌や踊りも披露し、大きな拍手をもらいました。

また、参加者1人ひとりに子どもたちが折り紙でできたペンダントをプレゼント。「ありがとう。上手に作ったね」とほめられ恥ずかしそう。



その後は、3クラスに分かれて給食のカレーライスを食べながら、しりとりやなぞなぞで、なごやかに過ごしました。

「とっても楽しかった。来年また逢いましょう」と、見送ってくれた子どもたちに手を振っていました。

後日、子どもたちから、心のこもったお礼の手紙が届きました。どうもありがとう。



【まちセン・スタッフの一言】

核家族化が進むなか、世代間の交流はたいへん重要な取り組みです。

受賞おめでとうございます

平成22年度「札幌市自治振興功労者」表彰

★ たまむら のりこ 玉村 紀子 さん ★

11月26日(金)、地域活動に貢献された市民に贈られる札幌市自治振興功労者に選ばれ、札幌市長から表彰を受けられました。

長年にわたり、西野中立町内会役員、西町連合町内会女性部長などを歴任されました。



👏 表彰式の様子です。おめでとうございます！

平成22年度「グリーンさっぽろ衛生推進功労者」表彰

◆ ますだ げんさく 増田 源作 さん ◆

地域の環境美化活動に尽力された個人に贈られる衛生推進功労者として表彰されました。

現在、西町中の川町内会保健衛生部長として、地域の環境衛生の向上に積極的に取り組んでおられます。



おめでとうございます！



「まちセン（まちづくりセンター）」の“役割（お仕事）”

■ 地域のまちづくり活動の支援

- 前ページまでに主な内容を記載しています。

■ 各種証明の取り次ぎ

- 住民票や印鑑証明、戸籍謄本などの取り次ぎを行っています。
お昼休みでも受け付けは行っておりますので、
こちらにお越しいただくか、お電話で申し込みいただければ、翌日の10時以降に受け取ることができます。
(戸籍は電話での受け付けは行っておりません。)
受付時間:8:45~16:45(土、日、祝日、年末年始はお休みです。)

■ 地域に身近な拠点

- ボランティア袋(10リットル、40リットル)や、家庭ごみ収集カレンダーの配布
ボランティア袋は、公園や街路樹から飛散した落ち葉や、ごみステーションの散乱ごみを清掃した場合など
にご利用いただけます。
- 使用済み天ぷら油(廃食油)を資源として回収するための拠点
- 冬季間、滑り止めの砂や砂入りペットボトルを配置
- (地域のまちづくり活動など公共性の高い団体への)会議室の貸室
- 情報端末(パソコン)閲覧コーナーの設置
- まちづくりセンターのすぐそば(西側)には、西町地区福祉のまち推進センターもあり、高齢者やご家族の
困りごとの相談に対応してくれます。

■ 地域で活動する団体などとの連絡調整

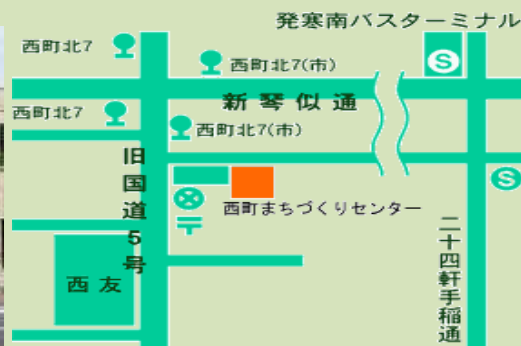
- 町内会、交通安全関係団体、日本赤十字社、地区社会福祉協議会、青少年育成委員会、
民生委員・児童委員、子ども会連絡会など

■ 札幌市の事業や地域のイベントがわかります。

- 各種パンフレットが置かれておりますので、お近くにお越しの際は、お立ち寄りください。



ご用の際は、
お気軽に
お立ち寄り
ください。



>>>> 編集・発行 <<<<

西町まちづくりセンター 〒063-0061 西区西町北6丁目1-10

TEL 661-2591 FAX 667-7816

□□ 取材協力 西区役所総務企画課広聴係 □□

西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>